

誰のための医療？



～移植ソールリズムを問う～

神戸に外国人富裕層の患者を臓器提供者(ドナー)と一緒に来日させ、
営利目的の生体肝移植を行おうとする計画が進められています。
私たちはこの計画について詳しく市民の皆さんと議論する機会をもちたいと考えています。

日 時

平成22年**10月2日(土)**
午後2時～4時30分

場 所

神戸市医師会館4階 大ホール
神戸市中央区橋通4丁目1-20 電話 078-351-1410
駐車場はありませんので公共交通機関をご利用ください。

定 員

先着**250名**

■パネリスト

中川 俊男 氏(日本医師会副会長) 辻 泰弘 氏(参議院議員)
石崎 勝伸 氏(神戸新聞社 デスク) 三木 孝 氏(神戸市企画調整局参与)

■座長 本庄 昭(神戸市医師会会長)

申込方法

住所、氏名、電話番号、同伴者人数、車椅子での来所の有無を裏面申込書にご記入のうえ、FAXにてお申し込み下さい。



手話通訳

要約筆記

■主催 (社)神戸市医師会

■共催 兵庫県医師会・神戸市地域医療推進協議会

神戸市民の皆さん、ご存知ですか？

神戸に外国人富裕層の患者を臓器提供者（ドナー）と一緒に来日させ、営利目的のために、自由診療で生体肝移植を行おうとする計画が進められていることをご存知ですか？

これは一歩間違えると、お金持ちが貧困層のドナーから臓器の提供を受ける臓器取引、更には移植ツーリズムに繋がる危険性があります。

その計画は、神戸ポートアイランドに先端医療を担う医療施設群（メディカルクラスター）を作り、その中の神戸国際フロンティアメディカルセンターを機関特区（特別なルールが通用する医療機関）として認証し、主として海外の患者に対して生体肝移植を行おうというものです。

日本人であれ、外国人であれ、病める人を診療し治療することは医師の当然の責務です。しかし、本来なら貧富の差に関係なく万人に平等に提供されなければならない医療を、生命倫理を軽視した営利目的の産業のために利用し、しかも神戸市等が組織的に行おうとしていることに対してははっきりと異議を唱え、“神戸市における生命倫理を軽視した営利目的の生体肝移植に断固反対する”ことを声を大にして表明します。

2010年8月

社団法人 神戸市医師会・神戸市地域医療推進協議会

申込方法：下記「参加申込書」に必要事項をご記入の上、郵送またはFAXにてお申込ください。
先着順で受付、定員になり次第締め切りさせていただきます。（締切9月24日必着）

※定員以後の申込の場合のみご連絡いたします。

〒650-0016 神戸市中央区橘通4丁目1-20 神戸市医師会市民フォーラム係

電話 078-351-1401 **FAX.078-361-4455**

点線で切り取ってください。（FAXでの申し込みはこのまま送信してください）

神戸市医師会フォーラム係 FAX.078-361-4455

【市民フォーラム参加申込書】

お名前

ご連絡先住所 〒

電話番号

FAX

同伴者 名（本人除く）

車椅子での来所（有・無）